

子ども杉コレクション2012 in 宮崎

グランプリ 天空のやたい

川南町立山本小学校 5年
富山久瑠実・宮崎県

今回杉コレクションでグランプリを取れてとてもうれしかったです。
最初、学校でデザイン画を書いた時はグランプリが取れるなんて夢にも思っていまへんでした。プレゼンテーションの時は予想以上の人の多さでとても緊張しました。
学校に行ったらみんなが「おめでとう」と言ってくれました。こんな大きな賞をもらったのは初めてだったのでとても思い出になりました。
ありがとうございます。



子ども杉コレクション2012 in 宮崎

みんなも笑顔になれるで賞作品 木の中のやたい

宮崎中立恒久小学校 5年
間野志晴・宮崎県

杉コレクションにおうぼして最終選考会まで残ってよかったと思います。多くのデザインが実物になりぼくはその屋台を見たときびびくりしました。とても大きくてすごく細かく作ってあったからです。五分のプレゼンテーションではとてもきんちょうしました。でも前日などで練習をしたのでうまくいったのでよかったです。グランプリは取れなかったけれど来年またおうぼしてグランプリを取りたいです。



子ども杉コレクション2012 in 宮崎
みんなも笑顔になれるで賞作品 移動式プリンアラモード屋台

宮崎中立恒久小学校 6年
山下雄史・宮崎県

今回の杉コレクションの最終選考会で、ちよつと早く会場にいきすぎて緊張していましたが、何よりもうれしく思えたのは、ギネスにのりそうな最年少のグッドデザイン賞受賞者と選りすぐりのデザインや絵を見てきた専門家に会ったことです。
その時、たった一つの発想で、人の心を温かくできる物が、生み出せるからこそ、デザインはすごいと改めて思いました。
また、デザインにふれあつてゆきたいと思いました。



東日本被災地支援部門

みんなも笑顔になれるで賞作品 うさぎの始めた森やたい

野田村立野田小学校 4年
小野寺菜々花・岩手県

私がデザインした屋台の絵が選ばれて、とてもうれしかったです。作っていた屋台を見た時は、すごくかわいくできあがっていたのを感じました。
当日は、きんちょうしたけど会場のみなさんが盛り上げてくれたので楽しくプレゼンテーションをすることができました。

杉のぬくもりを感じる事ができて、すごくいい思い出ができました。みんながこの屋台にきて笑顔になればいいなあと、思いました。



東日本被災地支援部門

みんなも笑顔になれるで賞作品 えがおクッキーやたい

野田村立野田小学校 4年
沢里七華・岩手県

初めて自分で書いたデザインを本物にしたものを見て、デザインのままにできていてすごいと思いました。ニコちゃんは木でできていて、しっかり顔も目も書いてあつて、すごいなあと思いました。
プレゼンテーションで私の番になるとすごくきんちょうして、ドキドキしました。だけどしっかりと説明を言えてよかったです。トロフィーをもらつてうれしかったです。私はいままでいただいたことがなかったからよかったです。けいにうれしく、すごくすくいい思い出ができました。

えがお



東日本被災地支援部門

みんなも笑顔になれるで賞作品 とくなくゲーム屋たい

野田村立野田小学校 4年
三上京史・岩手県

ぼくは、杉コレクションの表彰式に出る時正直、自信がなかったし、すごくきんちょうしました。でも宮崎の人が「ぶつうにやればいいよ。」と言つて、リラックスさせてくれたのできんちょうせずに楽しくできました。最初のきんちょうは、なんだったんだと思うぐらいでした。ぼくのデザインからすばらしい屋台を作つていただき、とてもうれしかったです。

ぼくたちは、津波にあつて大変だったけどみんながおうえんしてくれたので元気になりました。



子どもたちの素直なアイデアをプロの技術が具現化。驚きの作品が誕生。

作品の製作を担当したメンバーは、子どもたちの作品のイメージをできるだけを損ねないようさまざまな工夫を凝らした。
「木の中の屋台」は、かなり大径の杉をくりぬいて本当に子どもが中に入れるように仕上げた。「移動式プリンアラモード屋台」はレバーを操作すると中から本物のプリンが飛び出すように工夫を加えた。

いずれの作品も作者である子どもたちを驚かすには十分な迫力で、初めて作品を目の当たりのした子どもたちからは「すごい...」という驚嘆の声が聞こえた。保護者からは、イベントが終わればぜひ作品を引き取りたいとの要望が寄せられるほどであった。
子どもたちのアイデアに、プロの技術が重なり、感動的な作品が生まれた。



宮崎の小学生と野田小の児童、小田村長と内藤審査委員長との記念撮影